

第38回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2018年10月12日（金） 11:00～13:00

開催場所 横浜市保土ヶ谷区天王町 2-45-55 モンテファーレ

番組審議委員 全7名『出席7名』

渡邊 敏生会長

太田 由紀枝委員 河内 宗次郎委員

小磯 守委員 篠崎 顕一委員

中嶋 孝委員 渡邊 晶委員

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長 上村 忠

取締役副社長 栗山 高幸

コンテンツ部長 江藤 和徳

コンテンツ部マネージャー 橋爪 洋喜

コンテンツ部マネージャー 田光 あずみ（事務局）

コンテンツ部 渡邊 早貴（司会）

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について
 - ・「地域情報便 じもっと!!」
 - ・「地域スポーツ応援特番」

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 放送番組の種別及び放送時間について
- ・ 訂正放送について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

【委員の皆様からのご意見】

- ・台風の中継について、停電地域の情報を伝える際「停電が早く解消すると良いですね」というコメントがあった。それだけではなく、停電して電気が再開した際の注意や、停電中の明かりを取るための工夫などの情報提供があったら良いと思った。
- ・サークルの紹介は良いと思ったが、どのようにピックアップしているのか知りたい。
市民活動支援センターなどでは、地域のNPOやボランティア団体、サークルの皆さんに情報提供をしたり、サークル同士を繋いだりしているが、「担い手の不足」や「活動の広報」が課題であった。行政が設置している市民の皆さんを支援する活動拠点が知られていないので、リレー方式で紹介するような番組があったら、情報が広がってよいと思う。
- ・サッカーの中継について、サッカーゴールが転倒して子どもが亡くなる事故が起きている。試合時はゴールは固定されているが、練習時は固定していないこともあり、強風や子供たちがぶら下がったりすると倒れて、最悪の場合亡くなってしまうこともある。
皆さんが見ている番組で「ゴールは固定しよう」などの注意喚起や固定する器具などの情報提供をお願いしたい。
- ・災害関連情報のテロップの文字表示を、より見やすくしていただきたい。
- ・各区お祭りや行事等があるが、開催にあたってボランティアの方々の苦労などをテレビを通じて放送してもらえると、皆さんに知ってもらえることができ良いと思う。
目立たない方々の活動を伝えてもらえたら、ボランティアの方も増えていくと思う。
- ・横浜市は全国でも振り込め詐欺や交通事故の発生がトップクラスであるので、メディアを使って広報活動をしていきたいと考えており、地域で行われるイベント・行事等の情報提供や取材依頼については、どの様にお知らせしたらよいか教えてほしい。
- ・台風の際、倒木によりYCVの線が切れているのを見つけ、YCVに連絡した。
町内のほとんどがYCVに加入しているため、TVが映らなくなる前に対応してもらい助かった。
- ・取材をしていただいても、学校にYCVが導入されていないため見ることはできない。
子どもの活動については、保護者も敏感だと思うので、ぜひ学校への導入を検討してほしい。
- ・保土ヶ谷に伝わる「民話」を紙芝居にて区民の方に伝える活動をしている。
この紙芝居を番組にして、放送することを検討していただけないか。
- ・YCVの技術力を活かし、地域拠点や地域活動の記念DVD制作もしてほしい。
- ・「地域情報便 じもっと!!」の放送時間が拡大されたが、さらに長くしても良いのではないかな。
少しでも長くすることで取材された方は喜ばれるのではないかな。
- ・災害情報では、テロップ表示だけでなく静止画での情報表示もしてもらえると良いと思う。
- ・イベント等当日取材をしているが、可能であれば事前準備から含めて取材してもらえると見ている人は興味が湧くのではないかな。
- ・情報提供先がよく分からないので、番組放送中にテロップを常時出したらどうか。
- ・区役所のモニター等で、YCVの放映をしてみてはどうか。

- ・いつも多くの幼稚園や保育所の子どもたち取材していただき、ありがとうございます。
子ども達が主役になれる機会というのは貴重で、家族間のコミュニケーションにもなり感謝している。
学童保育など小学生にも焦点を当てていただくと良いと思う。
- ・台風発生時などは、Y C Vを見ながらお迎えのお父様・お母様に情報を伝えている。
○丁目など地域の細かい部分まで分かるので、非常に役立つ情報となっている。

【上村社長 横浜ケーブルビジョンの業績、活動内容について】

業績については、売上予算 52 億に対し、利益面も含め上期は順調に推移してきている。
相模鉄道から Y C Vを引き継いでから 7 年が経過し、今年で創立 30 周年の節目を迎えた。
2011 年当時の売上が 30 億円程度、今年度は 52 億円となり約 1.7~8 倍の規模となっている。

30 周年を迎え、様々なイベントを企画しており、9 月にはご加入者様を招待し、保土ヶ谷公会堂にて NHK カジュアルクラシックコンサートを開催した。

Y C Vはこれから更なる飛躍をし、新サービスの開始、4K・8K 放送への対応など、地域の皆様に様々なサービスを提供していく使命がある。

そのため、6 月に基幹システムを大きく変更した。このシステム変更に伴い、お客様に作業をお願いするなどご不便をお掛けすることがあったが、12 月より 4K 放送を実施することが可能となった。

また、安価な携帯電話サービスや、昨年開始した「でんきサービス」に続き「ガスサービス」の提供を開始することができた。

Y C Vでは、旭区・泉区・保土ヶ谷区・西区と防災協定を締結している。

また、横浜市とは、大規模震災などが横浜市で発生した場合、救援物資の搬送や情報伝達など Y C V エリアの行政区と連携して活動する協定を全国で初めて締結した。

今後は、イツ・コミュニケーションズと東急電鉄が提供している、緊急度の高い防災情報などを音声とテレビで自動にお知らせする「テレビプッシュサービス」の準備を進めている。

日本全国多くの災害が発生しており、地域のイベントなどを放送するだけでなく、地域の災害に対応するため様々な取り組みを行っていく。

神奈川県警によると、県内での振り込め詐欺被害は、1 日 1,700 万円発生している。

Y C Vでは、神奈川県警のチラシを活用し、訪問営業の際に高齢者の方にお渡ししている。

さらに、振り込め詐欺は、留守番電話に設定するだけで被害が激減するとのことなので、電話機に付けるシールやポップ制作などの準備を進めている。

このように、地域で営業活動をする中で、防犯への取り組みも自主的に進めていきたいと考えている。

【栗山副社長 今後の取り組みについて】

YCVは「地域のケーブルテレビ局」という役割を認識し、今後も安全・安心情報や地域情報を皆様に分かりやすく、喜んでいただけるよう、引き続き取り組んでいきたい。

災害情報については、昨年度から、行政からの情報をタイムリーに発信する「Lアラートシステム」を導入し、災害時に行政からの情報をタイムリーに発信するということができた。今後は情報を発信するだけでなく、皆様により分かりやすく、見やすく発信できるかを考えていきたい。

安全・安心については、発災時だけでなく、災害や事故に遭う前の対策なども含め、日頃から情報提供ができるようにしていきたい。

「地域情報便 じもっと!!」の放送時間拡大、「地域応援特番」や「にこにこ写真館」「卒園番組」など番組を通じて、多くの地域の皆様にご出演いただけるよう取り組みをしてきた。今後はスポーツだけでなく、音楽祭などにもチャレンジしていこうと準備している。

YCVは地域の皆様に支えられ、30周年を迎えることができた。今後も40周年50周年と、引き続き良い状態で迎えられよう、地域の皆様にご愛顧頂けるよう努力していきたい。